

女性 100 人委員会 「環境と暮らしの分科会」が廃油回収を開始

女性 100 人委員会の「環境と暮らしの分科会」は 12 月 22 日から廃油回収の活動を開始しました。これは、市内のスーパー「トヨタ」が、同日から始めた市内各店頭でのてんぷら油の廃油回収を契機に、「資源の再利用やごみの減量」などを市に提言していた同分科会も、これに歩調を合わせて始めたもの。同分科会は、今後は自分たちの活動だけにとどまらず、市民運動として活動を広めたいと意欲を燃やしています。



廃油回収に協力する女性 100 人委員会の「環境と暮らしの分科会」の皆さん

使用済みてんぷら油を精製燃料に！ みんなの力で廃油を活かしましょう。

使用済みてんぷら油の処理はやっかいなものですが、廃油を回収して精製することでバイオディーゼル燃料として利用することができます。京都市では市バスが、豊岡市でもごみ収集車がバイオ燃料で走っています。ぜひ わたしたちも廃油回収に協力して、バイオディーゼル燃料に取り組みましょう。市内にあるトヨタ店の店頭には、廃油回収箱が設置されています。ペットボトルにてんぷら油を入れて持ち込んでください。油は植物油に限ります。動物性油脂（ラード）や石油系油は絶対に入れないようにお願いします。多少のてんぷらかすが混ざっていても結構です。

善意の寄付

市は 1 月 11 日、せんべい製造販売店「海鮮せんべい但馬」（和田山町市御堂）の田口晴喜社長から、116 万 8,578 円の寄付を受けました。

これは、12 月 30 日と 1 月 2 日に同店で行われた開店 1 周年記念のチャリティーもちつき大会で、ついたもちを入れて販売したぜんざいの売り上げ金などを「まちづくりに役立ててほしい」と寄付されたものです。

市では「ふるさと創生基金」に繰り入れ、まちづくりのために大いに活用することとしています。



井上市長に寄付金の目録を手渡す田口社長（左）

人権推進共同参画課だより (33)

いのち輝くまちに

「あってよいちがい」、「あってはならないちがい」

身の回りで見られる「あってよいちがい」と「あってはならないちがい」について考えることで、多様性を認めることや人権について考えてみましょう。

ただ、結論にとらわれるのではなく、なぜそのように分類したのかというわけや、考える過程を大切にします。分け方は次の 3 つで、友達や家族と話し合いながら考えてみてください。

- 分け方 A: あってよいちがい
B: あってはならないちがい
C: どちらともいえない

次のことからについて、どう考えますか。

- ①大人はタバコを吸っても良いが、高校生は吸ってはいけない。 ()
②A君は肌の色が黒いが、B君は白い。 ()
③大阪市では 80 m のビルを建てることできるが、京都市ではできない。 ()
④テレビやポスターに女性の水着姿は多いが、男

- 性の水着姿はほとんどない。 ()
⑤両親は妹には食事の後片付けを言いつけるが、兄には何も言わない。 ()
⑥I君は男の先生のいうことはよく聞くが、女の先生のいうことは聞かない。 ()
⑦バレンタインデーでS君はチョコレートを 10 個もらったが、Tくんはもらわなかった。 ()
⑧日本では食事のときにははしを使うが、インドでは指を使う。 ()

ほかにも、あなたの身の回りのいろいろなちがいについても考えてみてください。

このコーナーは、人権文化のあふれるまちづくりのため、「いのち」輝くまちづくりのため、市民の皆さんに問題提起や資料提供をします。

ご愛読いただき、ご家庭や街角の話題にいただければ幸いです。

◆市役所人権推進共同参画課 ☎ 672 - 6122